

町は、大東建託株式会社による「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2023（福島県版）」で、2年連続第2位を獲得しました。

食費無償化や制服支給など充実した子育て支援策や伊達桑折ICができ交通利便性が向上したことが評価されました。

町は、今後も「住み続けたいまち 住みた向上に努めていきます。

県内第2位に輝く 街の住みこちランキング

順位	自治体	評価項目（ベスト3）
1	郡山市	1位〔生活利便性〕 2位〔交通利便性〕 3位〔行政サービス〕
2	桑折町	1位〔行政サービス〕〔親しみやすさ〕 〔物価・家賃〕 3位〔交通利便性〕〔静かさ・治安〕〔自然・観光〕
3	須賀川市	3位〔生活利便性〕

管理職などに占める女性の割合

実現しよう！ 男女共同参画社会

男女平等度を順位付けした「男女格差指数」（2023年版）によると、日本は146カ国中125位と下位に沈んでいます。日本における女性の社会進出については、就業率でみると進んでいるものの、給与や雇用形態、指導的地位にある人の割合では、男女間に大きな差があります。特に、女性管理職（部課長級）の割合は、官民ともに低い水準です。

町が6月に町内事業所を訪問し、男女共同参画についての啓発を行ったところ、多くの事業所から「女性の多くは、そもそも管理職の地位を望んでいない傾向にある」との声が寄せられました。家事や育児の負担が女性に偏っているため、昇進を躊躇してしまうのではないかと考えられます。性別を問わず誰もが活躍できる社会の実現のために、まずは、私たち一人一人が「家事は家族全員の役割」「性別による役割分担などない」という意識を持つことが必要です。家庭や職場での環境づくりについて、考えてみることから始めてみましょう。

広告

部活動地域移行

地域全体で子どもたちを育てる

少子化により中学校部活動の維持が困難になり、教員の業務負担も深刻な中、国が示したのが「部活動の地域移行」。町では、関係者協議会を設置し、本町の実情を踏まえながら着実に進めていく取り組みを始めました。

部活動地域移行とは

中学校が実施している部活動を、地域のさまざまな組織や団体が実施するスポーツ・文化芸術活動に委ねていくことを指します。これを国は「地域クラブ活動」と呼んでいます。

地域移行が求められる背景に

は、生徒のニーズの多様化、生徒数減少に伴う部活動メニューの縮小、教員数の減少と業務負担増などが指摘されています。

そこで、令和5年度から7年度までの3年間を改革推進期間として段階的に取り組み、地域の実情に応じて可能な限り早期に実現することを目指すものとされました。

町の取り組み

本年2月、行政・地域団体・学校・保護者などからなる関係者協議会を設置。具体的な検討に入りました。基本理念を「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」とし、新たな地域スポーツ・文化芸術活動環境の構築に向けて、中学校と連携しながら、まずは休日から地域移行することを目指します。

地域移行のスケジュール

桑折町部活動地域移行関係者協議会設置

休日の地域クラブ活動準備

- ・保護者や地域団体などへ、地域移行について周知

指導者の募集・配置

教員アンケート

- 部活動指導員の募集
(顧問の代わりに、単独で指導・引率できる者)
- 外部指導者の募集
(顧問と連携・協力しながらコーチとして技術的指導を行う者)

- ・地域団体などからの推薦
- ・人材募集と人材バンク作成（随時）

生徒・保護者・地域団体アンケート

- ・学校、公共施設活用のための管理規則作成や地域移行に伴う費用負担、会計処理方法の検討など

- ・町教育委員会、学校で選考・配置
- ・部活動指導員、外部指導者研修

休日の「部活動指導員」「外部指導者」が確保できた部から配置する

条件・環境整備ができた部から
休日の部活動を地域クラブ活動として実施

改革推進期間

募集します！

- 部活動指導員
- 外部指導者

あなたの情熱と経験を
釀芳中学校の部活で
活かしてみませんか。

桑折町の子どもたちのために、皆さんの力を貸してください。各競技団体などから、適任者を推薦していただくことも大歓迎です！

【問い合わせ】
桑折町教育委員会
教育文化課 生涯学習係
☎ 582-2403